

編集後記

今年辰年、ドラゴンイヤーということで大きな変化や進展がある年と言われます。世界も日本も政治的な動きなど大きな変化がありました（進展があるかどうか今は未知ですが）。一方私たち、専門学校の領域では大きな変化、進展がありました。6月に「学校教育法の一部を改正する法律案」が可決され、単位制の導入、専攻科の設置など、高等教育機関として法制度上での地位向上が図られました。法改正を受けた流れを含め、今後専門学校に求められるものは何なのか、学校法人滋慶学園東京メディカルスポーツ専門学校 学校長の関口正雄先生に「専門学校に求められる質保証のかたち ― 職業教育マネジメントと学校評価 ―」を執筆いただきました。専門学校が教育機関として質を高めるために必要なことが論文内に網羅されており、専門学校に携わる方は必読の内容です。その他研究ノート、実践報告は「介護」「肩こり」「押し活」「まんが家」とバラエティあふれるキーワードが並んでいます。これも本ジャーナルの楽しさかと思います。ぜひご一読ください。

（編集副委員長 阿久津 撰）

本年度より事務局担当に加わりました。本誌に携わらせていただく機会を得て、職業教育という領域における皆様の論文から新たな気づきを得るとともに、自身の視座の狭さを省みる機会となっております。これまで国内外における介護人材教育に携わってまいりました。先生方の取り組まれている介護や保育、医療・福祉分野などの専門領域における研究が、これら教育現場における貴重な示唆になっていると感じております。ご尽力くださっている皆様に感謝申し上げますとともに、引き続きご投稿を心よりお待ちしております。

（編集事務局 清水 絵理）

通巻で16号となる弊ジャーナル第8巻第2号の発行をむかえ、最初に著者の先生方、各委員をはじめとする関係各位のみなさまに今回もお礼を申し上げます。ありがとうございました。この2024年は猛暑の後も残暑が続き、12月に入っても20度近くまで気温があがるなど寒暖差も激しく、ここ数日になってようやく冬らしい日が続きますが気候変動は身体にこたえます。著者の先生方数名からも体調を崩されたというお話しや、その結果「推敲が進まず残念ですが次号へ」と投稿を延ばされるといった残念なお話もいただきました。コロナ禍に続いての以前にも増しての異常気象は心身へ影響しているかと思えます。読者のみなさま、ご執筆を検討いただいている先生方もお身体にはくれぐれもお気を付けください。今号は第21回職業教育研究集会の報告として、全体会としてのシンポジウム登壇者スライドや分科会座長報告も掲載しております。2025年を迎えると早々から第22回職業教育研究集会の準備も開始する予定であります。次号でご案内いたします（予定です）ので、みなさまの研究発表の場として活用いただけますと大変幸いに存じます。弊ジャーナルへのご投稿もお待ちしております。

（編集事務局 杉山 真理）

— 「敬心・研究ジャーナル」査読委員一覧（50音順：敬称略）（2024. 12. 1現在） —

阿久津 撰	安部 高太朗	天野 陽介	伊藤 正裕	稲垣 元	井上 修一
今泉 良一	上野 昂志	王 瑞霞	大川井 宏明	大谷 修	岡崎 直人
小川 全夫	奥田 久幸	小澤 由理	小関 康平	川延 宗之	菊地 克彦
木下 美聡	近藤 卓	坂野 憲司	佐々木 清子	柴山 雄大	寫末 憲子
白川 耕一	白澤 政和	杉野 聖子	鈴木 八重子	武井 圭一	東郷 結香
中井 真悟	永嶋 昌樹	橋本 正樹	浜田 智哉	町田 志樹	松永 繁
水引 貴子	南野 奈津子	宮嶋 淳	八城 薫	安岡 高志	行成 裕一郎
吉田 志保	吉田 直哉	渡邊 眞理			

— 「敬心・研究ジャーナル」学校法人敬心学園 編集委員会（2024. 12. 1現在） —

委員長	小川 全夫	（職業教育研究開発センター、九州大学名誉教授、山口大学名誉教授）
副委員長	阿久津 撰	（日本児童教育専門学校）
学術顧問	川延 宗之	（大妻女子大学名誉教授）
委員	小泉 浩一、浜田 智哉	（日本福祉教育専門学校）
	柴田 美雅	（日本リハビリテーション専門学校）
	稲垣 元、王 瑞霞、住吉 泰之	（日本医学柔整鍼灸専門学校）
	五嶋 裕子	（東京保健医療専門職大学）
	水引 貴子、木下 美聡	（客員研究員）
事務局	杉山 眞理、清水 絵理、内田 和宏	（職業教育研究開発センター）

〈執筆者連絡先一覧〉

専門学校に求められる質保証のかたち

— 職業教育のマネジメントと学校評価 —

学校法人滋慶学園 東京メディカルスポート専門学校

学校長 関口 正雄

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3丁目1-16

E-mail: sekiguchi@pcpe.jp

介護福祉士養成課程における外国人留学生への効果的な教
学マネジメントの考察

— X校へのインタビュー調査から —

日本福祉教育専門学校 齊藤 美由紀

〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-15

E-mail: m-saito@nipku.ac.jp

促通を主とした即時効果が実感できる立位軽運動の効果

— 大学学園祭企画にて実施した肩こり改善プログラムの
実践報告 —

早稲田大学 非常勤講師 包國 友幸

幸福度と「推し活」についての一考察

— 「推し活」人口の拡大に向けた仮説 —

東京保健医療専門職大学 教授 宮田 雅之

〒135-0043 東京都江東区塩浜2-22-10

E-mail: masayuki.miyata@tpu.ac.jp

介護における「寄り添う」ことについての検討（2）

敬心学園 日本福祉教育専門学校 宮里 裕子

〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-15

E-mail: miyasato@nipku.ac.jp

まんが家たちの〈戦争〉

— 飢餓・生命・倫理をめぐる手塚治虫・やなせたかし —

大阪公立大学 吉田 直哉

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

E-mail: yoshidanaoya@omu.ac.jp